



発行日 平成28年4月11日



No.1

『やった！できた！』が響く学校をめざして！

—地域の学校、そして、子どもは地域の宝—

校長 宮 居 伝

元氣いっぱい、わくわくドキドキの新入生105名を迎え、全校児童645名で、平成28年度がスタートしました。

今年度、能登川南小学校に赴任させていただきました宮居 伝（みやい つたう）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、この一年間、本校の合い言葉である『みんな なかよく みがきあい(南小の子ども)』を大切にし、教職員一丸となって全力を尽くして参りたいと思っております。

本年度の学校教育目標は『豊かな心とたくましい体を持ち 意欲的に行動する児童を育てる』です。知・徳・体の調和のとれた子どもの育成に向け、とりわけ、「やった！できた！が実感できる魅力ある授業づくり」「自分も友達も大切にできる集団づくり」を目指し、取り組んでいきたいと考えています。

そこで、4月8日の始業式のなかで、子どもたちに、次の三つのことを話しました。

□『よく学び、よく遊べ（いっぱい勉強して いっぱい遊んでほしい）』

勉強も遊びも、自分にできる精一杯の頑張りをしていると、きっと、「やった！できた！」ということが、いっぱいできます。そして、「やった！できた！」と言えるまでには「ちょっとの我慢や頑張りが」必要で、このことを少しずつ繰り返していくことが大切です。みんなの頑張りを大いに期待しています。

□『素直にひとこと言える心（ありがとうやごめんなさいなどが素直に言える子どもになってほしい）』

南小の子どもたちは、感謝の気持ちが持て、素直で、自分で考え行動できるという素晴らしい良さを持っています。この良さを、これからもぜひ続けて、さらに磨きがかかっていけば最高です。

□『友だちとなかよく（「友だちとなかよくするには どうしたらいいのかな」を考えられる子どもに）』

新しい学年になりました。一人でも多くの友だちとなかよくできるよう、どんな言葉で話すといいのかな、どうするといいのかなを考えながら、毎日の生活を過ごしていこう。

最後になりましたが、私たち教職員は、二十一世紀に活躍する貴重な人材（宝物）をお預かりしているという重責を担っており、一丸となって職責を果たすつもりです。至らぬこともあろうかと存じますが、どうか保護者の皆様や地域の多くの方々のお力で、引き続き、学校を支援していただき、より多くの目と心で子どもたちを見守っていただければ幸いです。地域の学校として、そして、子どもは地域の宝として育てていければと切に願っております。どうかよろしくお願いいたします。



連絡とお願い

今年度も、学校だよりや学年・学級通信、ホームページで、子どもたちの学校生活の様子を、保護者や地域のみなさまに写真でも紹介していきたいと考えています。写真の掲載等について、何かありましたら、ご連絡ください。